P=ポイント

国内		県内	
6日	2023年家計調査、消費支出月平均実質2.6%減少 2023年の家計調査によると、1世帯当たりの消費支出(2人以上の世帯)は月平均で29万3,997円、物価変動の影響を除いた実質で前年比2.6%減少と2020年以来3年ぶりのマイナス。	1日	県内でプロ野球3球団がキャンプ始動 県内でプロ野球の1軍3球団がキャンプを始動し、各キャンプ地には野球ファンらが県内外から詰めかけた。観光、経済効果の期待が高まる。
8日	2024年1月景気ウォッチャー調査、景況感1.6P低下 2024年1月の景気ウォッチャー調査では、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は50.2と前月比1.6P低下。インフレによる消費マインドの低下や能登半島地震の影響もみられた。	3日	えびの市、南九州最大の買い物市「京町二日市」開催 南九州最大の買い物市で100年以上の歴史を持つ「京町二日市」が2月3~4日、えびの市JR京町温泉駅前通りで開催。県内外から約350の露店が出店し、来場客でにぎわった。
9日	2023年12月末、「国の借金」1,286兆円で過去最大 財務省によると、国債と借入金、政府短期証券を合計したいわゆる「国の借金」は2023年12月末時点で1,286兆4,520億円。同年9月末から10兆8,404億円増加し、過去最大。	6日	宮崎市、ギョーザ購入頻度1位、購入額2位 2023年のギョーザ購入頻度(100世帯当たり)で、宮崎市が都道府県庁所在地と政令指定都市の中で4年連続の1位達成。購入額(1世帯当たり)は静岡県浜松市に次いで2位。
15日	実質GDP2期連続マイナス、名目GDPは世界4位に転落 2023年10~12月期の国内総生産(GDP、季節調整)速報値は、実質で前期比0.1%減少と2期連続のマイナス。名目ではドル換算で4兆2,106億ドルとなり、ドイツに抜かれ世界4位に転落。	7日	県内休業・解散企業303件、5年ぶり増加 東京商工リサーチによると、2023年に県内で休業・解散した企業は前年比18.3%増の303件で、5年ぶりの増加。コロナ禍からの回復途中で、各種資材の高騰や人件費増などが要因。
21日	2024年1月貿易収支、1兆7,583億円の赤字 2024年1月の貿易統計速報で、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆7,583億円の赤字となった。赤字は2カ月ぶりで、赤字幅は前年同月比49.9%縮小。	9日	県、2024年度一般会計当初予算案6,598億円を公表 県は総額6,598億円の2024年度一般会計当初予算案を公表。子育て支援やスポーツ合宿受入強化などを柱にする「3つの日本一挑戦プロジェクト」には総額30億円の新たな基金を創設。
21日	訪日客数、10市場において1月として過去最高 日本政府観光局(JNTO)によると、2024年1月の訪日客数は268万8,100人で、主要23市場のうち、韓国や台湾、シンガポール、インドネシアなど10市場で1月としては過去最高を記録。	13日	都農町など4者、高級魚の世界初陸上養殖に成功 都農町と岡山理科大(岡山市)、NTT東日本(東京都)など産学官4者は、高級魚の「タマカイ」と「クエタマ」の陸上養殖に世界で初めて成功したと発表。国内出荷の実績はなく希少価値が高いため、今後の量産化を目指す。
22日	日経平均株価3万9,098円、バブル期超え史上最高値 2月22日の東京株式市場は日経平均株価がバブル経済期だった1989年12月29日の水準を約34年ぶりに上回る3万9,098円で史上最高値を更新。日本企業を再評価する海外マネーの流入等が要因。	21日	東九州自動車道、日南東郷IC周辺に工業団地整備 日南市は、東九州自動車道日南東郷インターチェンジ(IC)周辺に工業団地を整備する計画を発表。雇用の創出や地域活性化が狙いで、2029年度の完成を目指す。
27日	消費者物価指数(生鮮食品除く)、2%上昇 2024年1月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は生鮮食品を除く総合物価指数が106.4となり、前年同月比で2.0%上昇。上昇率は22年3月以来、1年10カ月ぶりの低水準。	26日	本県推計人口、7市町村で10年前比20%超減少 県発表による2024年2月1日時点の本県推計人口で、山間部を中心とした7市町村の人口が10年前と比べて20%以上減少したことが判明。減少率10%台も11市町村あった。